

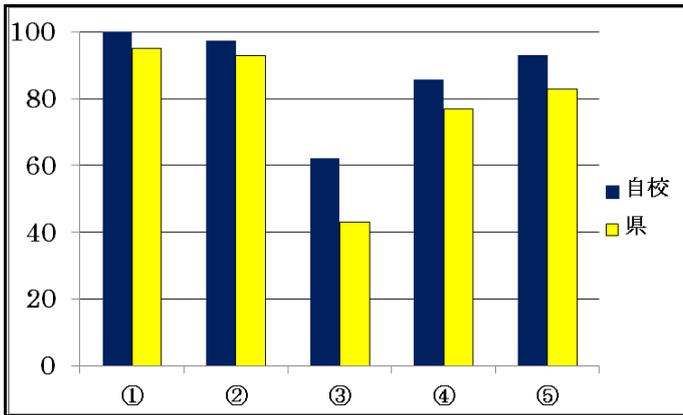
平成28年度 5・6年生学習状況調査（4月実施）分析結果報告

8月5日（金）

◆生活習慣に関する「質問紙（意識）調査」から

【 数値が特に高かった項目 】

調 査 の 項 目	
①	朝食を食べている割合
②	物事がやり遂げられて嬉しかったことがある割合
③	授業時間以外で1日当たりの読書時間が30分以上の割合
④	住んでいる地域の行事に参加する割合
⑤	話し合う活動をよく行っている割合

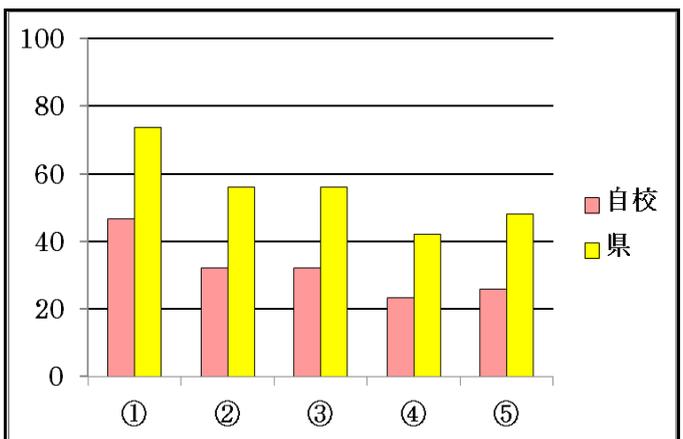


分析と取り組み

- ・②のように達成感を味わえる体験をしているが、自尊感情につながっていない傾向がみられる。達成感を自信につなげる声かけや児童自身が気づかないでいるよさを見つけ認めていく。
- ・⑤の結果に対し、自分の考えを伝えることに苦手意識を持つ児童も少なくはない。自分の考えを持たせて、ペアやグループでの学び合いの機会をさらに増やす手立てをとっていく。

【 数値が特に低かった項目 】

調 査 の 項 目	
①	自分にはよいところがあると思う割合
②	10時前には就寝する割合
③	学校の授業の予習・復習をしている割合
④	スマホや携帯電話を持っていない割合
⑤	テレビ視聴（ゲーム等は除く）が2時間以内の割合



分析と取り組み

- ・②④⑤については家庭との連携が不可欠である。高学年の携帯電話の所持率が急増していることを踏まえ、家庭へ実態を知らせ、育友会とも連携してノーテレビ・ノーゲームデーを設定し生活習慣の改善を図る。就学前の園児についても就寝時間が保護者の影響を受けている実態があり幼保小連絡会でも情報の共有を図り、連携して働きかけを進める。
- ・③については自主学習の励行を進め個に応じた学習内容の提示等も行っていく。

## ◆平成28年度佐賀県学習状況調査《 5年生 国語科 》

**全体の概要** 県平均をやや上回る結果に至っている。

「読む」「話す・聞く」において、本校・県全体とも要努力となっている。  
読解力をつける必要がある。問題の意図も読み取れていない傾向がみられた。

	分析結果・自校の課題	改善に向けた具体的取り組み
読解力	発表するための準備として、「ふさわしくないもの」を選ぶ際に、挙げられていた内容は一見すべて正解のように思える。 調べた順序がわかるような話の組み立てはふさわしくないが・・・「話の組み立て」に意識が行ってしまい目的がふさわしくないことに気づいていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月平均6回の朝の「国語タイム」（15分間）で、読み取り・条件付き作文・言語学習を計画的に行う。</li> <li>・15分学習に合う課題やワークシートの活用</li> </ul>
書き力	メモしたことを、大事なことを落とさず一文にまとめることが不十分。 語尾表現（～だそうです。）不十分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルのなものではない内容の月刊プリントやドリルを調べて購入し、実施していく。</li> <li>・条件付き作文を計画的に継続して行う。</li> </ul>
読解力	選択肢の内容と問題文を照らし合わせきれていない。 大事な言葉（キーワード）を的確に取り出せない。全体の文を読んだ上での判断が必要なのだが、そこが不十分。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事を活用した学習を自学ノート（自主学习）に取り入れて励行する。</li> </ul>
言語知識	言語の読みはよくできている。 国語辞典の言葉の配列が習得できていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語辞典・漢和辞典を教室設置し（MY辞書持参：家庭へ購入の協力要請）辞書引きの機会をまめに持つ。</li> <li>・授業だけでなく、読書タイムや図書の時間の一部を利用して計画的に行う。</li> <li>・国語辞典は3年生から、漢字辞典は4年生から継続して取り組んでいく。</li> </ul>

## ◆平成28年度佐賀県学習状況調査《 5年生 算数科 》

全体の概要 県平均とほぼ同じ

計算の基礎基本はよくできている。技能についても理解はできているが、正確さに欠けミスが目立った。

問題の意図を読み取れず、的確に問題を解けないでいる傾向が多く見られた。

	分析結果・自校の課題	改善に向けた具体的取り組み
数量や図形の知識・理解	<p>計算の基礎基本はできている。</p> <p>計算技能はあるが、小数点の付け忘れなどがある。位をそろえたり、単位をそろえたりするなどの丁寧さが欠けている。</p> <p>図形に対する理解がやや劣る</p>	<p>算数タイム15分（朝 月：6回程度）の計画的な活用</p> <p>作図をする。算数用語（平行・垂直・図形の性質）を用いて説明する。</p>
数量や図形についての技能	<p>計算の仕方・手順・ポイントの再確認</p>	<p>家庭学習で継続して補充していく。</p> <p>自学ノートでの取り組み（自主性重視）</p>
数学的な考え方	<p>立式するのに、複数の条件（3つ以上）があるものを苦手としている。</p> <p>問題をよく読んでいない。（グラフ）一ヶ月間→二ヶ月分を解答している</p> <p>円の性質（直径・半径）を使って考える問題を苦手としている</p>	<p>算数タイム15分（朝 月：6回程度）の計画的な活用</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>発展問題・活用問題への取り組み</p> <p>5分（自力解決）</p> <p>10分（グループでの学び合い）</p> </div>

# ◆平成28年度全国学力・学習状況調査 《 6年生 国語科 》

## A (知識) テストの結果

**全体の概要** 県平均を大きく上回る  
 昨年度に引き続き、本学年児童は無回答率が0%で最後の問題までどの児童もしっかり取り組むことができた。漢字の読み書きの正答率が高い。

## B (活用) テストの結果

**全体の概要** 県平均をやや上回る  
 選択問題では、提示された文章を見て、そのまま読み取り、どれも正答率が高い。  
 記述問題では文章の中から条件に合うように選び取ってよく記述ができていた。

	分析結果・自校の課題	改善に向けた具体的取り組み
話し方・聞き方	<p>目的や意図に応じて、収集した情報を関係づけて話したり、話し手の意図を捉えながら聞き話の展開に沿って質問したりすることは十分達成できている。</p> <p>質問の意図を捉えたり、目的に応じて質問したいことを整理することについてさらに力をつける必要がある。</p>	<p>学び合い活動を通して、苦手意識を減らし、話す力、聞き取る力を高めていく。</p>
書く力	<p>県平均よりは、すべて上回っているが、図や表を基にしながらか、考えて記述することができていない。</p>	<p>昨年度より取り入れているが、引き続き普段から字数制限など、条件に合う文章を書くことに慣れさせていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図や表などを基にして、考えを文章に書くことを取り入れていく。</li> </ul>
読解力	<p>資料に書いてあることの読み取りは、できているが、変化や関連づけて読み取ることは、正答率が低い。</p> <p>グラフを基に、変化などを読み取る問題成果と課題の関係を考えながら、活動報告文を読み取る問題</p>	<p>授業や他教科の授業の中でも資料に書いてあることや意見発表だけでなく、そこから読み取れる変化、理由や説明なども併せて、発表する時間を計画的に取り入れていく。</p>
基礎事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の読み書きに関しては正答率が高い。特に、「読み」は96%と十分達成に達している。「書き」の正答率が70%台と低い。</li> <li>・「ローマ字」に関する正答率が低い。特にローマ字で「書く」ことが低く、正答率が40%以下である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科や日常書く文章の中でも習った漢字を使うよう意識させていく。</li> <li>・日常的にローマ字に触れることができるような環境を整備する。児童が普段目にするものをローマ字表記にするなどして、読みに慣れさせる</li> <li>・ローマ字を使って言葉や文を書く宿題を出したり、スキルタイムで取り組んだりする。自学で取り組ませる。</li> </ul>

◆平成28年度全国学力・学習状況調査 《 6年生 算数科 》

A (知識) テストの結果

B (活用) テストの結果

**全体の概要** 県平均をやや上回る  
 単純な計算は得意であるが、思考を要する問題では、つまずきがある。  
 文章題の文意の理解が不十分である。日頃から文章を理解する力を養うことが必要である

**全体の概要** 県平均とほぼ同じ  
 説明の際、考えの表現の仕方が不十分で、採点基準に合わない結果になっている。

	分析結果・自校の課題	改善に向けた具体的取り組み
数量や図形の知識・理解	少し考えればわかる問題でもミスがある。 (分数の約分問題) (三角形の高さも問題)  直方体の面の関係 垂直・平行	算数タイムで既習事項の練習問題を取り組ませる。 繰り返し練習  紙面上では、理解できない児童がいる箱などの具体物を使って体験させる。 (垂直・平行)
数量や図形についての技能	百分率や立体の構成について、情報をうまく活用できていない。	算数タイム(朝:15分)で類似の問題を計画的に取り入れていく。
数学的な考え方	百分率の問題につまずきがある。  説明の際、考えの表現の仕方が不十分で、採点基準に合わない結果になっている。 順序立ててわかりやすく説明できていない。	テープ図の読み取りや割合についていろいろな問題に取り組ませ、慣れさせていく。 練習問題で補う ・類似の問題をする。 ・説明の述べ方を教える 一から書き始める、最後に、結論をきちんと述べなおす、 という説明の仕方のポイントを教える